



だいすき、おじいちゃん

田原小学校3年(当時)

井藤一永

ぼくには、とよとみにすんでいるおじいちゃんがあります。おじいちゃんは七十八さいです。今でも大工の仕事をしています。おきやくさんの家や自分の家、たくさんのお家をたててきたすくおじいちゃんです。ぼくが、「木でつくった車がほしいな。」と言うと、すぐに作ってくれます。おじいちゃんの手は、ごつごつしていて、しわがあつてぶあついです。その手でノコギリを使って木を切ったり、トンカチやねじを使つてくつつけたりして、いろんな物を作ります。そしてその手で、ぼくのあたまをやさしくなでてくれます。ぼくはそのたびにうれしな、あつたかいなと思います。

おばあちゃんがなくなつてから、おじいちゃんひとりぐらしになりました。ぼくがとまりに行くと、「ようきたなあ。」

と言って、ぎゅうつとだきめてくれます。グミなどのぼくが好きなおかしを用意してまつていてくれます。いっしょにどうぶつ園や水族館・遊園地にも行きました。

おじいちゃんは、やさしくて、あまくて、まるであめみたいな人です。そんなおじいちゃんのこと、ぼくは心のそこから大好きです。

でも、今、おじいちゃんはびょう気になつて、入いんしています。あんなに元気だったのに、びょういのベッドにねているおじいちゃんを見るのはつらいです。だから、手じゅつがうまいくように、毎日つよくねがつています。おじいちゃんのかない顔より、やっぱり、にこにこわらつて顔が見たいです。もし元氣になつたら、おじいちゃんにおいしいコーヒを入れてあげたいです。たくさんおしゃべりして、またいっしょに水族館に行ったりぎゅうつとだきついたりしたいです。おじいちゃん、ずっと元氣でいてね。大好きだよ、おじいちゃん。

川遊びの出来事

福岡小学校5年(当時)

竹中優斗

ぼくは二年生の夏休みにお父さんと川に行った。川はとても冷たくて、気持ちよかった。川で遊んでいると、遠くで幼稚園くらいの女の子が遊んでいた。しばらくすると、女の子がそこいらになくなつていた。他の人が女の子を助けに行つていた。するとだれかが、「おぼれてるぞ。」

と言つていた。ぼくは、何もできなかった。

一人の男の人が川の中に入つてその子を救出した。しかし、女の子は息をしていなかった。みんな小さなみだをばろと落としていた。

ぼくはとてもこわかった。今まで見たこともない光景を見たからだ。そんなことを思つていると女の子が息をしだした。女の子のお母さんはみだを流しながら何度もお礼をしていた。女の子を助けた男の人は、「いえいえ。」

と言葉を返していた。周りにいた人はみんな女の子を助けた男の人にはく手をしていた。ぼくは、とてもこわかったが、だんだんうれしくなつてきた。そして、とても小さな

なみだがゆっくりと落ちていった。ぼくは、改めて人間はおたがいに助け合つて生きていることを感じた。男の人には、人を助けようとする優しさとおぼれたのだと思う。

その日から今までずっと考えていることがある。自分にはあの男の人のような優しさとおぼれた風になることができるのだろうか。そこで気づいたことが二つある。

一つ目は、みんな一人一人個性的で、必ず迷うということだ。だれかがこまつている時、知らない人がたくさんいる中で、勇気を出して助けられるかどうかは人それぞれだと思ふ。苦手な人もきつというだろうし、迷うことも当然だと思ふ。でも、そんな時にこそ、勇気が大事なんだと思ふ。助けてもらった人は、その人の勇気をわすれることはなく、感謝することだろう。相手の気持ちを考へて行動すれば、あの男の人のようになれると思ふ。

二つ目が思いやりの心だ。相手を思ふ気持ちが強くなると行動が大きく変化する。気持ち強く強くなれば、大きく一歩前へ進むことができる。大きな一歩をふみ出すことができる人は、だれかのヒーロー

人権標語

になることができるだろう。そう思ふと、あの男の人はとても勇かんだつたと思ふ。二年生の時、ぼくは何もすることができなかったが、次同じような場面に会つたら、ぼくもできることをしたいと思ふ。

笑おうよ

みんな笑顔

あふれる町に

福岡小学校3年(当時)

後藤千尋

命をすてないで
自分の大切な命
すてないで

田原小学校4年(当時)

垣内美杜

あたりまえ

みんなちがうの
それがいい

八千種小学校6年(当時)

今田樹

いいねより

大事にしたい

思いやり

福岡東中学校3年(当時)

衣笠開斗

第51回福崎秋まつり

と き 10月31日(土) 9:45～ 開会

ところ 文化センター・エルデホール・商工会館 他

産業祭 9:45～14:20

- ステージイベント
- 地域まるごと体験市
 - ・職業体験ブース
 - ・飲食ブース
 - ・イベントブース

○警察車両・消防車等の写真撮影会 など ○町制70周年記念ビールお披露目

文化祭 9:45～15:00

- 各種販売・キャンペーン
- 公民館クラブ活動展
- 食育フェア
- 町制70周年記念キャラクターの絵コンテスト表彰式

○町制70周年記念ビールお披露目

入場無料 問い合わせ先 地域振興課 (☎27-8603(直通))

文化講演会 時 間 15:00(開場14:30予定)～16:30

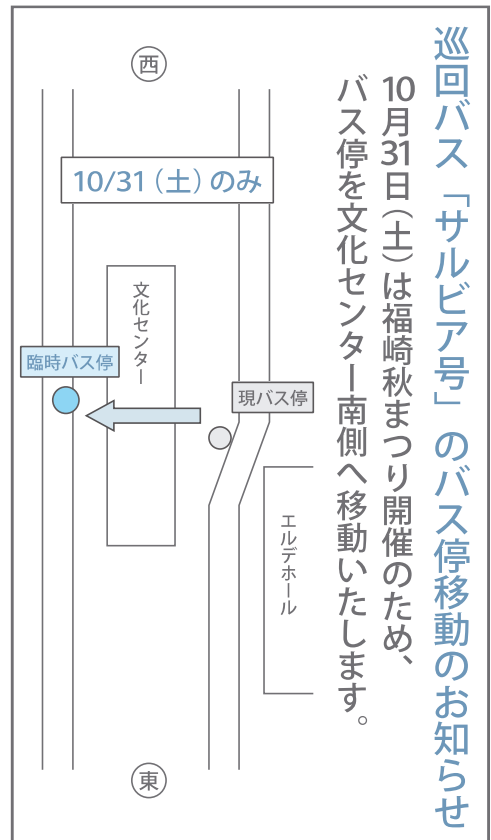
場 所 エルデホール メインホール

講 師 法学者 谷口真由美さん

講 演 「おばちゃん目線で考える日本の未来」

問い合わせ先 文化センター (☎22-3755/月曜日休館)

手話通訳
あります



第41回八千種研修センターまつり

と き 10月17日(土)・18日(日)

ところ 八千種研修センター もちの木会館

17日(土)

○展示発表 13:30～17:00 (18日(日) 9:30～15:00)

■いけ花

■華道クラブ

18日(日)

○模擬店(売切れ次第終了) 10:00～12:00

■たこ焼き

■焼きそば

■フランクフルト

■チュロス

■アメリカンドッグ

■ケーキ販売

■金魚すくい

■お茶席(八千種っ子)

■輪投げ・

■スーパーボールすくい

○ステージ発表 13:00～

■大正琴クラブ(琴伝流)

■福崎ひるハーモニー

■リズムダンス きらり

■福崎町詩吟クラブ

■女声合唱団 ポーコ・ア・ポコ

■少林寺拳法

■FK歌謡クラブ

■アンサンブル玉響

■リリレファ(フラダンス)

■福崎太鼓～煌kirari～

○バザー(ステージ発表終了後)

主催 八千種研修センターまつり実行委員会



福崎西中学校2年(当時)
兼田優太



福崎東中学校2年(当時)
埴岡真佳



八千種小学校2年(当時) 柳川佳穂



田原小学校1年(当時) 千家愛央

三木家住宅特別展示のお知らせ

会期 10月31日(土)～11月29日(日)

入館無料

開館10年 大庄屋三木家住宅 一建物からひもとく三木家の歴史一

三木家住宅は、宝永2年(1705)建築の主屋をはじめとする9棟の建物すべてが兵庫県重要有形文化財に指定されています。平成22年度から主屋部分に関連する保存修理工事を行い、平成29年度から三木家や地域の歴史を紹介する展示施設として主屋を公開しました。今年度は公開から10年目の節目となります。

本展では、三木家住宅の建物を改めて紹介するとともに、そこから垣間見える三木家の歴史をひもときます。

開館時間 9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日

問い合わせ先 社会教育課(☎27-8620(直通))



第14回子どもふるさと展

今年も、第14回柳田國男ふるさと賞の優秀作品を展示します。福崎町内の小・中学生の力作をぜひご覧ください。

1期 柳田國男・松岡家記念館 2階会議室
10月31日(土)

～11月23日(月・祝)

2期 福崎町立図書館 メディアルーム
11月28日(土)

～12月20日(日)

問い合わせ先

柳田國男・松岡家記念館
☎22-1000



三木家 de 「つのなす工作」参加者募集

参加無料・申込不要

幸せを運ぶ福崎町特産品「つのなす」に目鼻口などを書いてキツネを作ります。誰でも簡単に作れますので、ご家族そろってご参加ください。



■日 時 11月3日(火・祝) 10:00～12:00
※時間内であればいつでも参加できます。

■会 場 三木家住宅(西田原1106)
※材料はこちらで用意しています。

■問い合わせ先 社会教育課(☎27-8620(直通))

第13回 柳田國男検定結果報告

7月26日に、「第13回柳田國男検定」を実施しました。この検定は、柳田國男の功績と改めて向き合い、理解を深めていただきたいという願いから生まれたものです。

表彰式は8月29日に行い、上級編最高得点賞である清水三鈴さんには、副賞として旅行券をお贈りしました。また、学生受検者で初級編最高得点の岡本千明さんに奨励賞をお贈りしました。



受賞者のみなさんと千家教育長

	初級編 (50点満点)	中級編 (50点満点)	上級編 (100点満点)
受検者	16人	6人	6人
合格者	15人	2人	2人
最高得点賞	1人	1人	1人
平均点	40点	33点	66点

最高得点賞 【初級編】加藤孝幸さん

【中級編】河田 烈さん

【上級編】清水三鈴さん

奨 励 賞 【初級編】岡本千明さん

※受検者の得点別分布など、詳しくは柳田國男・松岡家記念館ホームページをご覧ください。

(社会教育課)

「昭和100年記念 お店からみる福崎」

会期 10月31日(土)～12月20日(日)

本展では、近世から昭和にかけての資料を中心に明細帳や広告、領収書などを読み解き、福崎にあった店や職とその商いの様子を探ります。

開館時間 9:00～16:30 (入館は16:00まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日

問い合わせ先 神崎郡歴史民俗資料館 ☎22-5699



福崎駅前通り
(昭和7年)



文化財フォーラム 開催のお知らせ

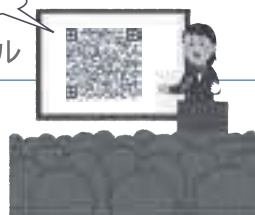
予約不要・参加費無料

世代をこえて受け継ぐ地域の宝

詳細はこちらから

日時 11月7日(土) 13:30～16:00 会場 エルデホール イベントホール

- ・地域の歴史調べ学習発表
(福崎西中学校2年 志水 栄さん・福崎東中学校2年 川上莉央さん)
- ・地域の事例報告
(辻川区 田崎正和さん・鍛冶屋区 中塚保彦さん・桜区 吉高平記さん)
- ・講演「地域の行事を未来につなぐためにー柳田國男のふるさとから考える民俗文化財の継承ー」
(園田学園大学経営学部教授 大江 篤さん)



どなたでも自由にご参加いただけます。ぜひお越しください。

問い合わせ先 社会教育課 (☎27-8620 (直通))

〈第37回〉

事前申込制



～コース各種と主なみどころ～

- のんびりコース 約8km/柳田國男生家・神積寺を巡るコース
- ファミリーコース 約12km/日光寺山を巡るコース
- 健脚コース 約19km/春日山周辺を巡るコース

申し込み・問い合わせ先

住民生活課 ☎27-8604 (直通)

ファックス 22-5980 ✉arukou@town.fukusaki.lg.jp

と き 11月23日(月・祝)

8:00～受付開始(小雨決行)

集合場所 田原小学校グラウンド

参加費 500円(未就学児は無料)

申込期間 10月26日(月)～11月17日(火)

申込方法 電話、ファックスまたはメールで参加者全員の①氏名、②住所、③年齢、④電話番号、⑤希望するコース名をお知らせください。

※未就学児は保護者同伴でご参加ください。



申込方法は事前申込のみです。

当日申込はできません。

「特定医療費(指定難病)(小児慢性)受給者証」を持っている人へ 通院にかかる交通費を助成します

■対象者 ○特定医療費受給者証(9月30日時点で有効なもの)を持っている人

○医療機関に通院している人(入院は除く) ○生活保護法による医療扶助を受けていない人

○福崎町重度障害者(児)福祉車両等事業及び通院支援サービス事業を利用していない人

■助成対象期間 令和7年10月～令和8年9月の通院分

■助成金額 1,000円×通院月数(上限12,000円)

■申請に必要なもの ○特定医療費(指定難病)または(小児慢性)受給者証

○対象期間の自己負担上限額管理表または医療機関の領収書

■申請・問い合わせ先 福祉課 町民福祉係 (☎27-8606 (直通))

申請期間 11月30日(月)まで

松岡五兄弟

松岡鼎

第92話



福崎の身近にある歴史を掘り起こそう 松岡鼎の帰省

神戸大学大学院人文学研究科 特命講師 井上 舞

松岡五兄弟の長兄・鼎は医師となるために、22歳のときに上京しました。帝国医科大学を卒業後、請われて布川（現・茨城県北相馬郡）で開業し、数年後には布佐（現・千葉県我孫子市）に転居。戸籍も辻川から布佐に移して、この地で生涯を終えました。

播磨で開業するには資金や土地が必要で、親戚も医師が多いため、鼎は当初から故郷に帰るつもりがなかったようです。と、柳田國男は語っています。（「昌文小学校のことなど」）。

しかし、そんな鼎にも故郷に心残りがありました。先祖の眠る墓所のことです。父・操、母・たけは、布佐の勝蔵院に葬られましたが、松岡家初代・勘四郎から、祖母・小鶴までの先祖代々の墓、幼く

して亡くなった3人の弟の墓は、故郷に残されたままでした。開業医という職業柄、長期間家を空けることが難しいとはいえ、松岡家の家長として、先祖の墓守を務められないことに忸怩たる思いを抱いていたようです。

大正9年（1920）、鼎は還暦を迎えました。人生の節目に思うところがあったのでしようか、鼎は約40年ぶりに辻川に帰省しました。このとき、三木家に立ち寄って拙二の歓待を受けたようで、三木家にはその礼状が残されています。書面には、1月8日に帰宅したとあるので、正月明けに訪問したのではないかと思います。

礼状によれば、三木家に滞在中、鼎は先祖の墓の移転について、拙二と相談したようです。当初、松岡一族の墓は、田尻の円乗寺に祀られていました。柳田國男はこれらの墓について「私の考えもあつたが、辻川の山の裏の妙徳山悟

真院というお寺の中に、少しばかり地面を譲ってもらってそこに全部まとめておまつりしてある。（中略）今では三木家でまつってもらっている」（『西所の松岡』）と語っています。それが、このときのことだったようです。

拙二は移転だけでなく、その後の墓守についても引き受けてくれたのでしょうか。それがよほど嬉しかったのか、鼎は帰宅の途中、通泰と國男のもとに立ち寄り、詳しく話を聞かせたそうです。そして弟たちからも改めて挨拶があるはず、と記しています。

これに関係する、通泰と國男の書簡が三木家に残されています。通泰からは1月8日付の礼状が届いています。文面には鼎が滞在中に様々なもてなしを受けたことを「ただ今当人より承り」とあり、鼎の話聞き、すぐさま筆を執ったようです。

國男も長文の礼状をしたためています。滞在中の礼を述

べるだけでなく、鼎が布佐に帰る途中で立ち寄って、詳しい話を聞いたこと、墓の移転について面倒も厭わず援助してくれることへの感謝、そして、老境に達した兄が常々墓のことだけは心配していたので、これでは心配していたのになく、これでは心配していたのになく、などといった内容が書き連ねられています。

先の『故郷七十年』の記述とも合わせれば、墓のことについて三木家に相談するよう持ち掛けたのは、國男だったのかもしれない。

その後、鼎は大正12年にも故郷に帰っています。このときは通泰が同行し、三木家のほか、生野に眠る祖父・真繼陶庵の墓にも詣で、寺の住職から在りし日の陶庵の思い出を聞いたりしたようです。

鼎は家業のこともあり、長く帰省が叶いませんでした。しかし、兄弟の中で最も長く辻川で暮らしていたのは鼎であり、それゆえに望郷の念は人一倍強かったでしょう。そんな中での40年ぶりの帰省。目に映る故郷の風景を、人々の話す播州弁を、鼎はどのよう



三木拙二宛松岡鼎書簡 大正9年1月14日（三木家蔵）

神崎郡消費生活中核センターだより

ご用心！災害に便乗した悪質商法

台風や大雨、地震、などの自然災害が毎年のように全国各地で起きています。

被災後の混乱に便乗し、点検商法や不当な高額請求などのトラブルが増えます。悪質商法は災害発生地域だけが狙われるとは限りません。

特に最近は「火災保険を使って自己負担なく住宅の修理ができる」など、「保険金が使えろ」と勧誘する手口について、全国の消費生活センター等に相談が寄せられています。

義援金詐欺の事例も報告されています。災害に便乗した悪質な商法には十分注意してください。

災害時に寄せられた相談事例

工事、建築

- ・台風で自宅の屋根瓦がずれ、見積もりのつもりで業者を呼んだら、屋根にビニールシートをかけられ高額な作業料金を提示された。仕方なく支払ったが納得できない。
- ・屋根の無料点検後、このまま放置すると雨漏りすると言われ高額な契約をさせられた。
- ・地震後「屋根の点検をする」と業者から訪問を受け、屋根工事の契約をした。その後、屋根工事を解約したら契約前に行われたブルーシート設置代金を請求された。



「保険金」を口実にした勧誘

- ・台風の後片づけをしていたら、業者が来訪し、損害保険を使って無料で雨どい修理ができる、経年劣化で壊れたものも保険でできると言われた。不審だ。
- ・先日の台風で雨どいが壊れ外壁もはがれた。「火災保険で修理できる」という業者が突然来訪し、保険請求手続の代行と住宅修理を依頼したがやめたい。



寄付金、義援金

- ・ボランティアを名乗る女性から募金を求める不審な電話があった。
- ・市役所の者だと名乗る人が自宅に来訪し義援金を求められた。



「困ったな」「不安だな」と思った時は、一人で悩まず早めに消費生活センターにご相談ください。

神崎郡消費生活中核センター（☎22-4977）

受付 火～金曜日 9:00～16:00（月曜日休館）

消費者ホットライン（局番なし188）

受付 平日 9:00～17:00、土日祝日 10:00～16:00

消費者へのアドバイス

工事、建築

- ・契約を迫られても、その場では決めず、できれば複数社から見積もりを取って比較検討しましょう。
- ・契約後でも、クーリング・オフができる場合があります。

「保険金」を口実にした勧誘

- ・「保険金を使って自己負担なく住宅修理ができる」と勧誘されてもすぐに契約せず、加入先の保険会社や保険代理店に相談しましょう。
- ・経年劣化による損傷と知りながら、自然災害などの事故による損傷と申請するなど、うその理由で保険金を請求することは絶対にやめましょう。

寄付金、義援金

- ・不審な電話はすぐに切り、来訪の申し出があっても断りましょう。
- ・金銭を要求されても、決して支払わないでください。
- ・公的機関が、電話等で義援金を求めることはありません。
- ・寄付をする際は、募っている団体等の活動状況や用途をよく確認しましょう。